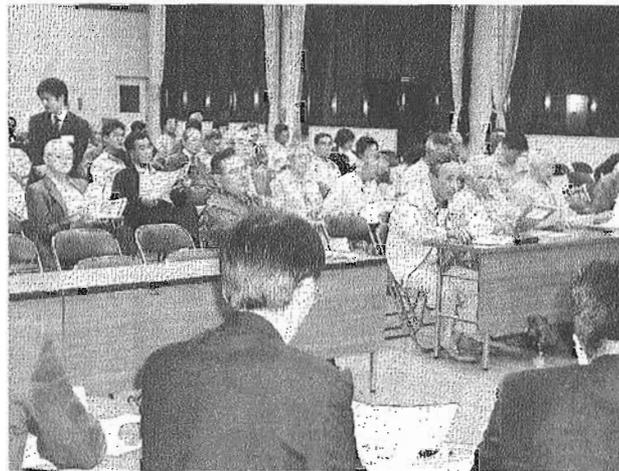


野田等4 I Cを設置

野田地区で住民説明会

出水阿久根道路



町民ら約80人が参加した説明会
＝野田町の町農村環境改善センターで

南九州西回り自動車道「出水阿久根道路」の野田地区住民説明会が12日、出水郡野田町の町農村環境改善センターであり、町民ら約80人が参加した。主催は九州地方整備局鹿児島国道事務所・県高速道路対策室。町からは吉満

重人町長、井町直致助役らが同席した。吉満町長は「1日も早く事業に着手してもらいたいというのが私どもの願望ですが、事業を行うにはさまざまな法律や手続きをクリアしなければなりません。本日はそのための第1回目の説明会です。十分理解、納得して次の段階に一步一步踏み出して頂きたい」と挨拶した。

齋藤啓嗣鹿児島国道事務所調査課長の説明会開催の主旨説明に続き、上馬健計画係長が同道路の概要と今後のスケジュールについて説明した。同会は内山一則県高速道路対策室技術補佐。同道路は、阿久根市多田(阿久根北IC)から出水市下知識(出水IC)間約10kmの区間。阿久根

北IC、出水ICの他、県道荒崎田代線に接する野田IC、県道出水高尾野線に接する高尾野ICの4 ICを設置する計画。参加者から「わずか10kmの短い区間に野田・高尾野の2 ICが設置される。本場に必要なのか」の質問に対して、上馬係長は「南九州自動車道では、都市間の交流と地域活性化のため3.5kmの距離でICを設置している」などと答えた。安藤司高速道対策室長は「九州西岸域を結ぶ大切なネットワークである」と同計画の理解を求めた。今後は、同説明会での意見を踏まえ、川内道路阿久根道路などの道路と同様、都市計画原案を作成、今年夏までに都市計画法に基づく第1回都市計画説明会を開く。なお、13日の高尾野地区に続き、14日午後7時から出水市音楽ホールで計画説明会を開く。



県事務所協建築相談調査会運営委員長 増山 英樹さん

事業者と消費者との間で専門的トラブルが多いのは、医療の分野と建築関係であると言われる。こうした中、建築相談やクレーム情報等を一元管理し、相談者の依頼に応じて、調査等を行う「建築相談調査会」が昨夏、県建築士事務所協会内に設置され、活動を続けている。

「かお...人」といった相談も寄せられています」と、初代運営委員長は創設の背景を語る。



カ月間に十数件を受け付け、うち5件を有料相談として業務を行った。「調査個所は新築住宅の屋根裏金具や耐震診断等に関するものでしたが、依頼者の中には「欠陥工事の証拠を見つけてくれ」というような人もありました。しかし、われわれは施工者のアラ探しをするのではなく、建物の状態を建築関連法令、技術的観点から判断し、中立的な立場から意見を述べた。

中立的立場で調査判断

調査会の先進地である千葉県との勉強会も実施した。「依頼者がすべて善人であるとは限らない」を想定、技術基準に即した対応マニュアルの作成、運営手法の確立が課題となっている。ゲンプラン設計(株)社長。会社の事務所は鹿児島市下荒田4丁目。55歳。



熱心に説明を聴く参加者
＝鹿児島市のかごしま県民交流センターで

ISO 認証取得説明会 統合システムを詳説

オールシステム(株)堀切康一社長、鹿児島市は13日、鹿児島市のかごしま県民交流センターでISO 認証取得の無料説明会を開き、ISO 9001、ISO 14001の認証取得やISO 統合

システムについて詳しく説明した。説明会には、ISOの取得を目指す建設業等関係者約30人が参加。堀切社長が「ISO取得者に対する行政の評価は高まっている。また品質マネジメントシステムと環境マネジメントシステムは別々のものでなく、一緒のもの

電子入札等を短時間で把握 CD-ROM無償配布

かごしま異業種交流支援事業実行委員会が14、15年度に支援した「電子入札・納品研究会」はこのほど、2年間の研究成果に基づき、短時間で電子入札・納品について学べる情報システムです。この説明会が皆様のお役に立てればと開催しました」と挨拶。次いでISOの概要や取得費用について説明した後、堀切社長がプロジェクトを使って統合システムの作り方を具体的に説明した。

同システムは、同社が県内で初めて規格に基づいて独自に開発し、品質マネジメントシステムと環境マネジメントシステムを一本化したシステムで、またマニュアルと帳票だけで運用でき、取得費用の軽減や業務の効率化が図れる。特に取得費用については、3社以上

の団体が取得すると、審査費用等に含まれる交通費等の軽減につながる。この中で堀切社長は「品質と環境は密接な関係にあり、ISO導入が他企業や顧客からの信頼性を高め、社員の品質や環境に対する意識を向上させ、利益追求に対する意識向上につながる」と話した。

都城ショールーム新装開店 地域密着を心掛け

タカラスタンダード(株)は3日から、都城ショールームを宮崎県都城市に移転し、新装オープンした。素材実験コーナーや快適機能商品の実演展示など、水回りに役立つ情報発信地として、地域に密着した親しみやすいショールームを心掛け、一層のサービス充実を目指す。

新ショールームは、国道10号沿い(吉尾交差点)の交通利便な場所に、乾燥機「IHヒーター」「浴室暖房乾燥機」などの実演展示。また、身長に合わせて天井(作業面)の高さが選べる「フリーサイズシステムキッチン」や建物に合わせオーダー可能な「フリーサイズシステムバス」の空間寸法を体験できる動く展示などがある。

住所などは、宮崎県都城市吉尾町6123-1、ショールームの電話等(099866-4711、099866-4716、FAX 471668、FAX 471675)。



新装オープンした都城ショールーム
＝宮崎県都城市で

展示スペースも従来の約1.5倍で、宮崎県エリア最大級のキッチン18セット、システムバス9セット、洗面化粧台12セットの商品を用意し、「ホーロー」「フリーサイズ」「機能」「ユーザー選択」などが実体験できるように展示されている。同ショールームの特徴として、「高品位ホーロー」の素材実験コーナー(099866-4716、FAX 471675)。